

整理番号	29-12	事務事業名	(農業振興奨励事業) 生産組織育成対策事業		作成部署	経済部農政課	電話	内線 850
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	池上 俊廣	課長職名	鈴木 康照	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S44	根拠法令等	北広島市補助金等交付規則					
〃 終了予定年度			北広島市農業振興奨励事業補助金交付要綱					
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	各生産組織を育成支援することにより、農業技術の向上、生産の合理化及び農業の近代化を進める。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	力強い産業活動が展開されるまち (第6章)	
	節	農 業 (第1節)	
	施策	生産・流通の振興 (第3施策)	
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市内の農業経営者及び関係機関で組織する各生産組織(組合)の会員	
	意図(何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか)	各生産組織の農業技術の向上及び情報交換を図ることに対して支援することにより、生産の合理化及び近代化を推進し、農業経営の安定化を図る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	組織強化、技術向上及び情報交換等のための研修会の開催及び先進地視察研修等に要する各生産組織活動経費への補助
		17年度	技術向上及び情報交換等のための研修会等の開催、品質向上対策、作物品種比較試験及び先進地視察等に要する各生産組織事業費への補助

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	1,196	1,196	982	982
	合計	1,196	1,196	982	982
人件費(概算)	人数(年間)	0.03	0.03	0.03	0.03
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	270	270	270	270
総事業費 +		1,466	1,466	1,252	1,252

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	総会員数	260人	255人	255人	255人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	(代替指標)				
	技術講習会・研修会開催数	14回	11回	15回	15回
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	会員1人当たり補助金額	4,600円	4,690円	3,851円	3,851円
	(市補助額/会員数) 8部会				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	農畜産物価格の市場化、農業者の高齢化・担い手不足、畜産におけるBSE等の伝染病など、農業生産を取り巻く環境は年々厳しくなっている。このような状況において、個人レベルではなく、管内、道内はもとより、国内全体を視野に入れた活動や各種事業の展開、情報の共有、技術の向上が不可欠であり、生産組織の果たす役割は大きいものである。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありますか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	農業振興を図る上で、生産組織の果たす役割は大きく、行政として組織育成の支援を行うことは適切である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	本市農業の維持発展のために、各農業者個人ではなく、生産組織が主体となった農業技術の向上、生産の合理化・効率化を図ることが必要である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	生産組織の活動を支援する手段として、補助金は適切である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	平成17年度から補助金の算出根拠に生産組織の規模、会員数、会費金額等を取り入れることや、事業費補助への変更を実施したことにより受益者負担の適正化が進んだ。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	各生産組織とも、技術向上講習会や先進地視察、管内及び道内他組織との交流等事業は積極的に実施されており、17年度からは事業費への補助へ見直した。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	平成17年度から補助金の算出根拠に生産組織の規模、会員数、会費金額等を取り入れるとともに、事業費補助への変更を実施した。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	米の生産調整、輸入農産物との競合、後継者不足等農業を取り巻く環境は厳しく、農業経営は更なる経営の効率化、近代化が要求されている。このような状況の中、生産組織が果たす役割は今後も大きなものがあるが、すべての組織に毎年補助を行っていく現在の形態については、各生産組織と調整を図りながら見直しを進めるとともに、より効果的な農業支援への転換を検討する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	長期継続補助金であるため、終期設定についても検討するとともに、補助金以外での支援策の検討も進める。

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	29-12(1)
------	----------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市農業振興奨励事業補助金(生産組織)		
交付先の名称及び代表者名	北広島市花卉生産組合 組合長 早川 英幸	設立年	S48
構成員(団体)数	12名 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	緑化事業及び生産安定化対策事業を推進し、花卉生産農家の経営安定に寄与する。		
交付先団体等の活動内容	1 緑化推進事業(市役所へ花卉を寄贈) 2 研修事業(花き流通セミナー 3名参加) 3 花き製品の本州移出の情報交換及び検討会(10名参加) 4 組合員である花卉生産事業者の事業施設修繕助成(135千円)		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)
収 入	本市補助・交付金の額(A)	135	135	101
	会費	195	180	180
	諸収入	190	223	200
	その他(研修会負担金)	370	298	300
	繰越金	43	35	41
	収 入 合 計(B)	933	871	822
支 出	研修費(講習会,研究会,視察)	44	74	100
	会議費	172	164	183
	役務費	42	40	50
	その他(予備費)	38	58	33
	事業費(緑化、生産安定化)	602	494	456
	支 出 合 計(C)	898	830	822
繰越金	収入(B) - 支出(C)	35	41	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		15 %	16 %	12 %
補助・交付金の対象経費(項目)		すべての経費	すべての経費	事業費(研修費含)
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		898	830	556
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		15 %	16 %	18 %
補助・交付金の算出根拠	定額(基本割+会員数割+基幹加算により算出)			

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	29-12(2)
------	----------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市農業振興奨励事業補助金(生産組織)		
交付先の名称及び代表者名	北広島市養豚生産部会 会長 七尾 久美	設立年	S36
構成員(団体)数	5名 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	養豚経営安定のを図り、養豚振興に寄与する。		
交付先団体等の活動内容	1 経営安定化対策として視察研修及び講習会実施 2 石狩管内養豚協会総会及び研修会への参加		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	90	90	70	
	農協助成金	165	90	54	
	会費	30	25	50	
	諸収入				
	その他(研修負担金)	3	0	0	
	繰越金	7	11	0	
	収入合計(B)	295	216	174	
支 出	研修費(講習会,研究会,視察)	52	63	74	
	負担金	15	15		
	会議費	58	27		
	その他(予備費)	2	5		
	事業費	156	62	100	
	支出合計(C)	283	172	174	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	12	44		
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		32 %	52 %	40 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		すべての経費	すべての経費	事業費(研修費含)	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		283	172	174	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		32 %	52 %	40 %	
補助・交付金の算出根拠	定額(基本割+会員数割+基幹加算により算出)				

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	29-12(3)
------	----------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市農業振興奨励事業補助金(生産組織)		
交付先の名称及び代表者名	北広島市農業機械部会 会長 穴田 健三	設立年	S44
構成員(団体)数	56名 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	農作機械の効率的利用と円滑なる運営を図り、農業経営の近代化及び省力化に努める。		
交付先団体等の活動内容	1 トラクター点検整備共励会の実施(55台参加) 2 遊休農具の把握、紹介等有効利用の奨励 3 視察研修、講習会の実施		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	86	86	63	
	農協助成金	150	150	100	
	会費	140	183	86	
	その他(研修負担金)	50			
	繰越金	32	15	21	
	収入合計(B)	458	434	270	
支 出	研修費(講習会,研究会,視察)	211	150	85	
	負担金	95	117	87	
	会議費	40	49		
	その他(予備費)				
	事業費(安全運動費)	98	98	98	
	支出合計(C)	444	414	270	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	14	20		
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		19 %	21 %	23 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		すべての経費	すべての経費	事業費(研修費含)	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		444	414	270	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		19 %	21 %	23 %	
補助・交付金の算出根拠	定額(基本割+会員数割により算出)				

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	29-12(4)
------	----------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市農業振興奨励事業補助金(生産組織)		
交付先の名称及び代表者名	北広島市米麦生産部会 会長 住田 昇	設立年	S45
構成員(団体)数	34名 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	米麦の生産及び消流等の改善に関する事業を促進して、米麦の品質向上を図り、もって農家経済の発展に寄与する。		
交付先団体等の活動内容	1 講習会(水稻現地講習会1回、良質小麦安定生産技術講習会2回) 2 安定生産・品質向上対策(水稻無人ヘリ防除 2回、3123a実施、害虫予察57箇所) 3 適期刈取判定会(2回、42圃場実施)		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	131	131	102	
	農協助成金	250	235	170	
	会費	85	85	68	
	諸収入	100	50	0	
	繰越金	2	5	0	
	収入合計(B)	568	506	340	
支 出	研修費(講習会,研究会,視察)	140	135	160	
	旅費	1	0		
	負担金	41	44		
	会議費	118	82		
	その他(予備費)	20	0		
	事業費(防除、共励会関係)	243	238	180	
支出合計(C)	563	499	340		
繰越金	収入(B) - 支出(C)	5	7		
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		23 %	26 %	30 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		すべての経費	すべての経費	事業費(研修費含)	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		563	499	340	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		23 %	26 %	30 %	
補助・交付金の算出根拠	定額(基本割+会員数割+基幹加算により算出)				

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	29-12(5)
------	----------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市農業振興奨励事業補助金(生産組織)		
交付先の名称及び代表者名	北広島市そ菜生産部会 会長 沖 久次	設立年	S39
構成員(団体)数	82名 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	そ菜生産出荷の諸問題についての協議検討及び関係機関との情報交換を行い、青果物の円滑な取扱を行うことを目的とする。		
交付先団体等の活動内容	1 消流対策(消費・流通動向調査) 道内・道外市場消流会議参加 2 地場消費(地産地消)の推進 作物別部会会議9回開催 3 視察研修(道外市場2回)		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	131	131	136	
	県協会交付金	450	440	440	
	会費	272	260	0	
	諸収入	10	1,176	0	
	その他(研修負担金)	2,103	1,684	1,724	
	繰越金	8	36	0	
	収入合計(B)	2,974	3,727	2,300	
支 出	研修費(講習会,研究会,視察)	1,997	1,687	500	
	旅費	75	81	0	
	会議費	169	145	0	
	その他(予備費)	16	1,135	0	
	事業費(消流関係)	681	631	1,800	
	支出合計(C)	2,938	3,679	2,300	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	36	48		
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		4 %	4 %	6 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		すべての経費	すべての経費	事業費(研修費含)	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		2,938	3,679	2,300	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		4 %	4 %	6 %	
補助・交付金の算出根拠	定額(基本割+会員数割+基幹加算により算出)				

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	29-12(6)
------	----------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市農業振興奨励事業補助金(生産組織)		
交付先の名称及び代表者名	北広島市酪農生産部会 会長 谷川 武利	設立年	S40
構成員(団体)数	17名 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	酪農近代化を達成し、酪農振興に寄与する。		
交付先団体等の活動内容	1 乳牛資質向上対策 2 粗飼料確保対策(富良野広域串内牧場への育成牛預託放牧 6戸 62頭) 3 視察研修(苫小牧市 コーンズ・エコファーム 14名参加)		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	131	131	95	
	農協助成金	315	235	274	
	会費	51	51	51	
	諸収入				
	その他(研修負担金)	20	21		
	繰越金	35	53		
	収入合計(B)	552	491	420	
支 出	研修費(講習会,研究会,視察)	119	122	180	
	会議費	75	103		
	その他(予備費)	17	12		
	事業費	288	206	240	
	支出合計(C)	499	443	420	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	53	48		
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		26 %	30 %	23 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		すべての経費	すべての経費	事業費(研修費含)	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		499	443	420	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		26 %	30 %	23 %	
補助・交付金の算出根拠	定額(基本割 + 会員数割 + 基幹加算により算出)				

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	29-12(7)
------	----------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市農業振興奨励事業補助金(生産組織)		
交付先の名称及び代表者名	北広島市営農指導対策協議会 会長 山本 勝	設立年	S41
構成員(団体)数	5団体 道央農業協同組合、恵庭土地改良区、石狩南部地区農業改良普及センター、石狩地区農業共済組合、北広島市 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	農業経営の改善に関する計画樹立及び営農状態に即応する技術対策の指導、農業と他産業開発との関連に係る技術調整等の活動を通して地域農業経営の確立に寄与する。		
交付先団体等の活動内容	1 先進地視察研修(道内1回) 2 市内作況調査実施(水稲、大根、アスパラ、人参、キャベツ、ポインセチア) 3 台風18号農業被害調査		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)
収 入	本市補助・交付金の額(A)	393	181	297
	農協助成金	220	93	118
	諸収入			
	繰越金	20	70	
	収入合計(B)	633	344	415
支 出	研修費(講習会,研究会,視察)	336	21	315
	会議費	5	2	
	役務費	95	171	
	事業費(技術導入指導)	127	102	100
	支出合計(C)	563	296	415
繰越金	収入(B) - 支出(C)	70	48	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		70 %	61 %	72 %
補助・交付金の対象経費(項目)		すべての経費	すべての経費	事業費(研修費含)
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		563	296	415
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		70 %	61 %	72 %
補助・交付金の算出根拠	定額(基本割)			

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	29-12(8-1)
------	------------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市農業振興奨励事業補助金(生産組織)		
交付先の名称及び代表者名	北広島市家畜自衛防疫組合 会長 谷川 武利	設立年	S60
構成員(団体)数	22名 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	家畜伝染病の発生予防と家畜衛生思想の普及啓蒙を推進し、畜産農家の経営安定を図る。		
交付先団体等の活動内容	家畜農家に対する衛生対策事業及び伝染病予防注射の実施(本付表は衛生対策事業分)		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	99	99	79	
	農協補助金	55	0	0	
	組合防疫事務費	12	20	70	
	諸収入			1	
	繰越金	15	36	10	
	収 入 合 計(B)	181	155	160	
支 出	事業費	130	130	130	
	負担金(技術料)	15	15	15	
	会議費			10	
	その他(予備費)			5	
	支 出 合 計(C)	145	145	160	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	36	10		
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		68 %	68 %	49 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		すべての経費	すべての経費	事業費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		145	145	130	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		68 %	68 %	61 %	
補助・交付金の算出根拠	定額(基本割+会員数割により算出)				

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	29-12(8-2)
------	------------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	北広島市農業振興奨励事業補助金(生産組織)		
交付先の名称及び代表者名	北広島市家畜自衛防疫組合 組合長 谷川 武利	設立年	昭和60年度
構成員(団体)数	22名 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	家畜伝染病の発生予防と家畜衛生思想の普及啓蒙を推進し、畜産農家の経営安定を図る。		
交付先団体等の活動内容	家畜農家に対する衛生対策事業及び伝染病予防注射の実施(本付表は予防注射分)		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	35	29	39	
	諸収入(予防注射料)	222	465	465	
	繰越金	9	39	69	
	収入合計(B)	266	533	573	
支 出	事業費	213	463	514	
	その他(予備費)	13	1	59	
	支出合計(C)	226	464	573	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	40	69	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		15 %	6 %	7 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		すべての経費	すべての経費	事業費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		226	464	514	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		15 %	6 %	8 %	
補助・交付金の算出根拠	公共牧野への預託牛に対する予防接種経費の1/3以内補助(平成16年度から)				